

本校の読書活動推進の取組

1 学校の概要

- (1) 所在地：二本松市榎戸一丁目58番地2
- (2) 学級数・生徒数
 - ①学級数 9 (各学年 機械システム科1、情報システム科1、都市システム科1)
 - ②生徒数 269名 (令和4年4月11日現在)
- (3) 学校図書館の蔵書数 22,111冊 (令和4年4月1日現在)

2 読書活動推進の取組内容

① 生徒が本に親しみやすく、安全で使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

- (1) コロナ禍における安全で安心な図書館環境作り (写真1)

コロナ感染対策の一環として、入口でのアルコール消毒の設置やマスク着用の徹底、返却本の消毒、常時換気を行っている。昨年度から今年度にかけては、大型空気清浄機と非接触型体温計、座席と貸出カウンターにパーテーションを設置した。
- (2) SDGs への意識を高め、積極的な取組を促すための展示 (写真2)

ロゴポスターを図書館内外に掲示し、廊下には17の目標のアイコンと関連付けた書籍を展示した。SDGsの基本理念『誰一人取り残さないこと』を可視化する形でPRした。
- (3) 館内書籍の適切な配置工夫と特集コーナー (写真3)
 - ・新着本や話題の本は入口近くに目立つように配架している。
 - ・人気本は半期ごとにベストセラーコーナーを作り、時勢に合わせた特集コーナー(例:「心と体」)も設置した。
- (4) 食育推進の取組 (写真4)

食育推進コーディネーターの提案により、食育に関連する図書の展示を行った。今年度は朝食に関する資料、弁当関連の資料、スポーツ栄養学に関する本や食品添加物に関する本を廊下に展示した。
- (5) ブックリストの活用 (写真5)
 - ・福島県高等学校司書研修会発行のブックリスト『おもしろい本な〜い』を用いて選書および紹介コーナーを作成している。
 - ・各出版社発行のブックリスト(『高校生に読んでほしい本50冊』ほか)を、選書の参考にできるように図書館入口付近に配置し、気軽に手に取り自由に持ち帰り出来るようにしている。
- (6) 進路意識および資格取得意識高揚の促進 (写真6)
 - ・就職・進学関係、資格取得関係コーナーを設置している。仕事に関する本や一般常識対策、面接、小論文関連の資料を展示し、貸出を実施した。
 - ・資格取得において就職に有利とされる品質管理検定(QC検定)の案内や関連図書を展示し、受検意識と向学心の高揚を図った。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

② 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

(1) 利用案内の配付

利用案内は、生徒向けと教職員向けの2種類を作成し、新入生と全教職員に配付している。

(2) クラス別貸出冊数の公表

毎月、クラス別の貸出冊数を調査し、定期的に図書館だよりに掲載。図書館前のグラフは図書委員の生徒が作成している。

(3) 各教科やHRとの連携

授業やLHRで図書館利用の際に、教員や司書が生徒に図書の貸出促進を図ることはもちろんだが、生徒同士が互いに読書を喚起し合えるよう、貸出時や返却時に積極的働きかけを行っている。

③ 読書活動の質向上へ向けた取組

(1) 図書委員による図書選定を実施 (写真7)

図書委員会研修として、図書資料の選定を行い展示コーナーを設置している。

(2) 教員による図書館資料の選定 (写真8)

予め予算を確保し、年2回、各科・各教科の購入希望調査を行い、図書館資料について全教員が選定する機会を設けている。



写真7



写真8

④ その他、読書活動推進へ向けた取組

(1) 図書館オリエンテーションの実施

新入生対象に図書館にある資料や、図書館の利用方法についての案内を、年度初めのLHRの時間を活用し実施している。

(2) 定期的な「図書館だより」や「新着図書案内」の発行 (写真9①②)

読書意欲をかきたてられるよう視覚的に構成し、生徒や教職員の目につく場所（自販機横や視聴覚室前など）に掲示している。

(3) 図書館報の年1回発行

蔵書の中から図書委員のおすすめの本の紹介、年間の貸出ランキング及び多読者ランキング発表、先生方の読書にまつわる記事を掲載している。

(4) 読書希望図書の積極的購入

カウンター付近にリクエストカードを設置し、生徒や教職員の要望にできるだけ応えている。

(5) 近隣校との連携 (写真10)

今年度は「読書週間」の行事の一環として、近隣4校(安達、安達東、本宮、二本松工業)の図書委員を中心にPOP作成を行った。POPは各校で共有し校内に展示した。



写真9①



写真9②

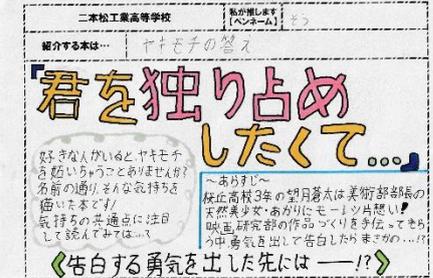


写真10